

2026年度 神奈川工科大学 大学院 工学研究科 学生募集要項



博士前期課程

社会人特別推薦入試

 **神奈川工科大学**
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030

【お問合せ先】

〈入試課〉 TEL.046-291-3000
FAX.046-291-3003
E-mail nys@kait.jp

目 次

目次	1 ページ
建学の理念、教育目的	2 ページ
工学研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミSSION・ポリシー	3 ページ
各専攻のアドミSSION・ポリシー	4～5 ページ
社会人特別推薦入試	
1. 趣旨	6 ページ
2. 募集専攻および募集人員	6 ページ
3. 出願資格	6 ページ
4. 入試日程	7 ページ
5. 選考方法	7 ページ
6. 試験場・集合時刻	7 ページ
7. 試験内容	7 ページ
8. 合格発表	7 ページ
9. 出願の流れ	8 ページ
10. 検定料	9 ページ
11. 出願方法	9 ページ
12. 提出書類	10 ページ
13. 納入金	11 ページ
14. 教育訓練給付制度について	11 ページ
15. 教育課程表	12～17 ページ
16. 研究指導要目	18～22 ページ

※個人情報について

出願にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験の実施および統計的集計を行うために利用します。

【疾病・負傷や身体障がい等による受験上および修学上の事前相談について】

疾病・負傷や身体の障がい等により、受験および修学に際して特別な配慮を必要とする方は、出願前に神奈川工科大学入試課にお問い合わせください。

神奈川工科大学入試課 TEL.046-291-3000 FAX.046-291-3003

建学の理念

本学は、広く勉学意欲旺盛な学生を集め、豊かな教養と幅広い視野を持ち、創造性に富んだ技術者を育てて科学技術立国に寄与するとともに、教育・研究を通じて地域社会との連携強化に努める。

教育目的

広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための高い能力と倫理観を有する人材の育成を目的とする。

工学研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

ディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

以下の知識と能力を培い、かつ、専攻ごとに定められた修了要件を満たす学生に「修士」の学位を授与する。

- (1)研究者、技術者の職業を担うために必要な専攻分野における基礎的知識・技術や応用的知識・技術を身につけ、それらを体系的に理解しており、かつそれらの知識や技術を問題解決のため活用することができる。
- (2)幅広い視野や俯瞰力から技術課題を発見したり、技術ニーズを掘り起こしたりすることができる。
- (3)技術課題を設定し解決法を提案して研究を企画でき、企画した研究を実践することができる。
- (4)専門知識に基づいて自らの思考や立案の妥当性を理論的に説明し、議論することができ、また、自ら遂行した研究、開発、調査等の成果を英文も含め、文章としてまとめることができる。
- (5)研究者、技術者として社会の健全な発展に貢献するため高い倫理観に基づいた判断ができる。

カリキュラム・ポリシー(教育課程の編成・実施方針)

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)に基づき、下記の方針に従って教育課程を編成し、実施する。

- (1)専攻分野における基礎的知識・技術や応用的知識・技術を身につけるとともに、それらを体系的に理解させ、その応用力を育成するために、各種講義や演習を中心とする基礎科目系と応用科目系からなる専攻分野のコースワークを設置する。
- (2)専門分野にとらわれない幅広い視野や俯瞰力を身につけるため、研究科の講義による共通基礎科目群を設置する。
- (3)課題解決能力、実践的能力、プロジェクト企画力、チームワーク力等の社会人力等を育成するため、PBL教育を中心とする総合プロジェクトやインターンシップを設置する。
- (4)課題解決能力、研究企画力、実践能力、自らの思考や立案を理論的に説明して議論できる能力や研究、開発、調査等の成果をまとめ口頭や文章で表現する能力などのコミュニケーション能力を育成するため、企画立案から成果発表までの一連の研究活動を実行する特別研究を設置する。また、高い倫理観を涵養するために特別研究においては倫理教育も行う。

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れの方針)

本研究科では以下のような入学者を求めています。

- (1)研究者、高度技術者に必要な専門知識や技術を習得したり理論を理解するために必要な学士課程で形成されるべき基礎的知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用できる思考力を有する人。
- (2)国際交流に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- (3)論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

各専攻のアドミッション・ポリシー

機械工学専攻

機械工学専攻では以下のような入学者を求めている。

- ①自然や社会に受け入れられるさまざまな優れた機械製品やシステムの開発や、製造や保守、またそれらに関連した様々な問題の解決に貢献できる高度な機械技術者・研究者を養成するために必要な学士課程で形成されるべき基礎的知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用する思考力と、さらにそれを達成する意欲と熱意を有する人。
- ②グローバル化に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- ③論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また機械・電子・情報に関する技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

電気電子工学専攻

電気電子工学専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①研究者、技術者に必要な電気電子工学分野の専門知識やスキルを理解するために必要な数学、電気回路、電子回路と電磁気学の基礎知識を有し、これら知識を活用できる人。
- ②グローバル社会に対応する基礎力をもつ人。
- ③自ら行動し、電気電子工学の問題発見・解決に喜びを見いだせることができ、研究開発や技術発明を通して社会に貢献する意欲をもち、明確な入学の目的を持つ人。

応用化学・バイオサイエンス専攻

応用化学・バイオサイエンス専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①学士課程終了時において、応用化学、バイオサイエンス分野における化学、生物、栄養の分野に関し、物質・材料工学、環境・健康プロセス工学、生物・細胞工学、食品・栄養工学に代表される科目に対して、必要とされる十分な基礎的知識を有している人。
- ②応用化学・バイオサイエンス分野に関して、基礎的な英語能力を有している人。
- ③学士卒業時において、必要とされる社会人基礎力、倫理観を身につけ、かつ、課題発見・解決能力の基礎となるべき方法論を実践し、今後も自らに課題を課し、意欲的に学習することのできる人。

情報工学専攻

情報工学専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①情報をベースとする研究者、高度技術者に必要な情報・通信・メディアに関する専門知識や技能を習得したり理論を理解するために必要な学士課程で形成されるべき基礎的知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用できる思考力を有する人。
- ②情報・通信・メディアに関する国際交流に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- ③論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また情報・通信・メディアに関する技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

ロボット・メカトロニクスシステム専攻

ロボット・メカトロニクスシステム専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①研究者、高度技術者に必要な専門知識や技能を習得したり理論を理解するために必要な力学・電気電子・制御工学・情報処理・福祉工学・人間科学分野における基礎的な知識と能力を有する人。さらに、これらの知識や能力を活用できる思考力を有する人。
- ②国際交流に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- ③論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また技術を通して社会に貢献する意欲をもち、これらを含めて明確な入学の目的をもつ人。

社会人特別推薦入試

1. 趣旨

近年、経済社会の発展や科学技術の急速な進歩により、大学院における社会人の再教育に対する要望が高まっている。これに応えて、本学大学院においては、社会人技術者または研究者の継続研修および再教育の場を提供するとともに、それを橋渡しとして、大学と産業界との交流を深め、新しい学問と学術の発展に寄与することを目的に、その門戸を社会に向けて開放している。その一環として本学では社会人特別推薦入学制度を実施している。

通常の方法のみで大学院修士課程(博士前期課程)の教育を実施した場合、社会人はその勤務を最低2年間離れて修学することが必要となり、大学院教育を受ける機会が制約されがちである。そこで社会人の勉学を容易にするために、社会人技術者または研究者を対象として弾力的な教育方法を導入し^{※注}、職場を離れる期間を短縮できるようにするとともに、ここに掲げる特別推薦入試を実施して社会人技術者または研究者の入学の便を図っている。

注) 弾力的な教育方法の具体例として以下のように実施する。

1. 博士前期課程では2年のうち、1年次に通常の時間帯において授業を行う。
2. 博士前期課程の特別研究は、テーマに柔軟性を持たせ、各種研究所または企業での実際的な研究も、その研究が博士前期課程の研究にふさわしければ認める。

2. 募集専攻および募集人員

専攻	機械工学 専攻	電気電子工学 専攻	応用化学・ バイオサイエンス専攻	情報工学 専攻	ロボット・メカトロニクス システム専攻
募集人数	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名

3. 出願資格

社会人技術者、研究者等であって、入学時において同一企業等に1年以上正規職員として勤務した経験があり、かつ下記の項目の①、②、③のいずれかに該当する者で、合格した場合に入学を辞退しない者。

- ①学士の学位を有し、学部教育で志望の専攻と関連する専門教育を受けている者。
- ②学士の学位を有し、企業等において、志望専攻と関連する専門に関して、入学時において2年以上の経験を有する者。
- ③本学研究科において個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められ、企業等において、志望の専攻と関連する専門に関して、入学時において4年以上の経験を有する者。ただし、入学時に22歳に達していること。

※日本国籍を有しない者にあつては、上記①、②、③のいずれかに該当し、日本語能力試験N2(2級)相当以上であること。

※出願の際は次の期間中に本学入試課までご連絡ください。(nys@kait.jp)

A日程入試：6月16日(月)～7月25日(金)

B日程入試：12月1日(月)～1月16日(金)

ただし、12月29日(月)～1月5日(月)は休業のため受付いたしません。

4. 入試日程

◆A日程入試

出 願 期 間	2025年8月25日(月)～9月1日(月)〈消印有効〉 持参：2025年9月2日(火) 17時00分まで
試 験 日	2025年9月9日(火)
合 格 発 表 日	2025年9月13日(土) *受験者全員に結果を通知します
入 学 手 続 締 切 日	2025年9月25日(木)〈消印有効〉 持参：2025年9月26日(金) 17時00分まで
延 納 者 手 続 締 切 日	2025年12月18日(木)〈消印有効〉 持参：2025年12月19日(金) 17時00分まで

◆B日程入試

出 願 期 間	2026年2月9日(月)～2月16日(月)〈消印有効〉 持参：2026年2月17日(火) 17時00分まで
試 験 日	2026年2月24日(火)
合 格 発 表 日	2026年3月3日(火) *受験者全員に結果を通知します
入 学 手 続 締 切 日	2026年3月13日(金)〈消印有効〉 持参：2026年3月16日(月) 17時00分まで

5. 選考方法

次の(a)(b)を総合して選考します。

(a) 出願書類

(b) 面接(専攻に関連した専門知識の口頭試問を含む)

6. 試験場・集合時刻

試験場 : 神奈川工科大学(神奈川県厚木市下荻野1030)

集合時刻: 受験票に記載します。

試験室 : 受験票と一緒に送付する試験案内にて連絡します。

※試験日2日前になっても受験票が届かない場合は神奈川工科大学入試課に連絡ください。

TEL. 046-291-3000

7. 試験内容

面接により研究計画書等に関する確認を行います。ただし、外国人受験者の場合は、日本語の口頭試問を別途課することがあります。

8. 合格発表

受験者全員に選考結果を郵送で通知します。

A日程入試: 2025年9月13日(土)

B日程入試: 2026年3月 3日(火)

※学内での掲示による発表および電話・E-mail等によるお問い合わせには一切応じません。

9. 出願の流れ

提出書類の準備

事前に卒業証明書、調査書（成績証明書）、受験承認書及び人物推薦書等の書類を取り寄せておいてください。

志願票の記入

本学ホームページから志願票をダウンロードし、出願専攻等必要事項を記入してください。
本学ホームページ <https://www.kait.jp/>

検定料の支払い

- ①本学入試課窓口での支払い、②銀行窓口での支払い
①、②のいずれかの方法により、検定料をお支払いください。

提出書類送付

指定の提出書類を揃え各自で封筒を用意して、指定期日までに、必ず郵便局から簡易書留速達で送付または本学入試課へ持参してください。
※本学へ持参する場合の受付時間は、平日（月曜日～金曜日）の9時00分～17時00分です。

出願完了

提出書類を確認後、受験票を発送いたします。

注 意

- (1) 出願前に研究指導内容等について希望する指導教員と面談しますので、次の期間中に本学入試課にご連絡ください。
A日程入試：6月16日（月）～7月25日（金）、B日程入試：12月1日（月）～1月16日（金）
- (2) 出願書類に不備のある場合は、受験票を発行できません。提出の際には再度確認してください。
- (3) 試験日2日前になっても受験票が届かない場合は、必ず本学入試課へ問い合わせてください。
- (4) 一旦提出された書類は、いかなる場合も返還しません。

10. 検定料

- 検定料：30,000円（振込手数料は志願者本人の負担です）

検定料の支払方法

検定料の支払方法には、①本学入試課窓口支払いと②銀行窓口支払いが出来るので、いずれかの方法でお支払ください。なお、期限を過ぎた場合は一切受付いたしません。

①本学入試課窓口で支払う場合

本学入試課窓口へ検定料を持参してお支払いください。

なお、受付時間は、平日（月曜日～金曜日）9時00分～17時00分までです。

②銀行の窓口で支払う場合（銀行窓口備付の振込用紙をご使用ください）

次の口座にお振込ください。

振込先銀行		預金種目
みずほ銀行 厚木支店		普通預金
口座番号	受取人口座名	金額
1301975	カナガワコウカダイガク	30,000円
カタカナで名前を記入→	ご依頼人（出願者氏名）	
	*** **	

●検定料の返還について

一旦納入された検定料は原則として返還いたしません。下記の(1)～(3)の事由に該当する場合には、申請により検定料の返還を認める場合があります。なお、検定料送金に係った手数料は返還できません。また、返還に要する送金手数料はご負担いただきます。

- (1) 検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合。（出願書類提出後の取消しは認めません）
- (2) 検定料を誤って納入した場合。（検定料の二重払い等）
- (3) 出願不備等により出願が成立しなかった場合。（出願期間後に出願、書類の不備、出願資格無し等）

11. 出願方法

- 本学ホームページから志願票をダウンロードし必要事項を記入後、入試課まで郵送（簡易書留・速達）または持参してください。提出期限が過ぎた場合は受付いたしません。

【書類提出締切日】

A日程入試：2025年9月1日（月）＜消印有効＞

※持参する場合は、2025年9月2日（火）17時00分まで

B日程入試：2026年2月16日（月）＜消印有効＞

※持参する場合は、2026年2月17日（火）17時00分まで

＜郵送の場合＞

上記の出願書類を揃えて封筒（各自用意）に入れ、必ず「簡易書留・速達郵便」にて郵送してください。なお、封筒（表面）の左下に「大学院入試出願提出書類在中」と明記してください。

（送付先）〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学入試課

＜持参の場合＞

上記の出願書類を揃えて封筒（各自用意）に入れ、本学入試課窓口まで持参してください。

※受付時間は、平日（月曜日～金曜日）9時00分～17時00分

12. 提出書類 (※印の提出書類は、本学所定の用紙です。本学のホームページからダウンロードして下さい)

提出書類	内 容
①志願票※	出願専攻等、必要事項を記入して提出してください。
②写真	「写真」1枚を志願票に貼付して提出してください。 (縦4cm×横3cm/上半身/脱帽/正面向き/3ヶ月以内に撮影したもの)
③卒業証明書	出身大学により作成されたもの。
④調査書 (成績証明書)	出身大学により作成された調査書(成績証明書)。
⑤受験承認書及び人物推薦書※	現在の勤務先の所属長によるもの。
⑥志望理由書※	本学大学院に入学し、勉学・研究を行いたいと考えた動機および目的を記すこと。
⑦業績報告書※	卒業論文の要旨と、研究論文を有する者はその要旨または、別刷りを添付すること。
⑧研究(希望)計画書※	作成にあたっては、志願する専攻の主任の確認が必要となるため、本学入試課まで問い合わせること。
⑨業務報告書※	現在及び過去に携わった研究・技術業務についてその内容を詳しく記入すること。
⑩TOEICのスコア	2年以内に取得したTOEICのスコア(写し)を提出してください。
⑪検定料振込受領書	入試課窓口で支払った場合 振込み票の「大学提出用」の部分を提出してください。 銀行窓口で支払った場合 振込み票の「お客様控え」の写しを提出してください。 ※検定料お支払い後、「大学提出用」または「お客様控え」に収納印が押印されていることを確認してください。収納印が押印されていない場合には、検定料振込受領書を無効とします。
⑫そ の 他	＜指導教員との面談＞ 出願前に希望する指導教員と面談します。志願者は必ず次の期間中に本学入試課までご連絡ください。(nys@kait.jp) A日程入試：6月16日(月)～7月25日(金) B日程入試：12月1日(月)～1月16日(金) ＜外国人志願者＞ ○外国人留学生の方は必ず次の期間中に入試課までご連絡ください。その後、希望する指導教員と面談します。(nys@kait.jp) A日程入試：6月16日(月)～7月25日(金) B日程入試：12月1日(月)～1月16日(金) ○経費支弁にかかわる書類(詳細については、経費支弁書※の“出願・提出書類作成上の注意”を確認してください)を提出してください。 ○志願票の学歴欄には、小学校入学から記入してください。 ○出願時に『住民票』か『在留カード』の写しを提出してください。なお、住民票には在留資格、在留期間、在留期間満了日の記載を含み、出願時の3ヶ月以内に発行されたものとします。在留カードの写しは必ず裏面の写し(記載がない場合でも)も提出してください。

【健康診断書について】

健康診断書の提出は必要ありません。ただし、入学後に実施する本学の健康診断を必ず受診してください。

13. 納入金

(単位：円)

			一括納入	分割納入		
			(1 年分)	(前期分)	(後期分)	合 計
			入学手続時	入学手続時	2026 年 10 月末	
学費	入学金		200, 000	200, 000	—	200, 000
	授業料		1, 000, 000	500, 000	500, 000	1, 000, 000
大学委託 徴収金	後 援 会 *1	入会金	3, 000	3, 000	—	3, 000
		年会費	15, 000	15, 000	—	15, 000
		同窓会入会金*2	20, 000	20, 000	—	20, 000
合 計 (初年度納入金額)			1, 238, 000	738, 000	500, 000	1,238, 000

大学委託徴収金について：

*1. 保証人全員に入学して頂きます。入会金は入学時のみ、年会費は在学期間中のお支払いが必要で、学生の学会発表の補助、課外活動支援など学生は在学中何らかの形で還元されています。

*2. 同窓会入会金は入学時のみのお支払いですが、学部入学時または学部卒業時に既に同窓会費を支払っている方は再度お支払いいただく必要はありません。

注1) 2年次に支払う学納金は授業料 1,000,000 円 (年額) と後援会費 15,000 円 (年会費) の合計金額です。

注2) 神奈川工科大学では、学債や寄付金をお願いすることはありません。

14. 教育訓練給付制度について

本学大学院博士前期課程の電気電子工学専攻および情報工学専攻の2専攻は、厚生労働大臣より教育訓練給付制度の講座指定を受けており、本制度の一定条件を満たす者が大学院を修了した場合、公共職業安定所（ハローワーク）から所定の金額の給付を受けることができます。詳しくは入試課までお問合せください。

15. 教育課程表（記載の内容は変更になる場合があります）

(1) 共通科目

●教育課程表

（必選別：○選択）

分類	授業コード	授業科目	必選別	年次及び単位数				
				1年次		2年次		合計
				前	後	前	後	
研究科 共通 科目群	28709	数理科学特論	○	2				2
	28704	物理学特論A	○		2（奇数年開講）			2
	28713	物理学特論B	○		2（偶数年開講）			2
	28707	化学特論	○		2			2
	28706	サイエンスコミュニケーション	○		2			2
	28705	Technical English	○		2			2
	28710	Communication in English	○	2				2
	28714	IoTと知能情報処理技術特論	○	2				2
	28715	AI演習	○		2			2
	28716	量子コンピュータ概論	○		2			2
	28711	TOEIC（認定科目）	○					2
	28712	特許・知的財産論	○	2				2
合計								24

(2)機械工学専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28100	機械システム制御	○	2				2
		28110	材料力学特論	○	2				2
		28120	流体力学特論	○	2				2
		28130	熱力学特論	○	2				2
		28150	創造的問題解決法特論Ⅰ	○	2				2
		28151	創造的問題解決法特論Ⅱ	○		2			2
		28152	シミュレーション技法	○	2				2
		28153	エントロピー特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28154	熱機関特論	○		2			2
		28155	ヴィークルダイナミクス特論Ⅰ	○	2				2
	専門応用 科目	28104	ロボット機構学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28102	モード解析	○		2 (奇数年開講)			2
		28142	精密加工学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28116	宇宙機構造機構学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28117	燃焼工学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28114	流体機械特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28156	ヴィークルダイナミクス特論Ⅱ	○		2			2
		28157	ステアリングシステム開発特論	○		2			2
		28158	自動運転要素技術特論	○		2			2
		28159	デジタルファブリケーション特論	○	2				2
		28160	ワイヤレス技術応用特論	○	2				2
		PBL系科目	28105	総合プロジェクト	◎	2			
	共 通	28198	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28199	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28106	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								56	

(3)電気電子工学専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合 計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28200	回路解析特論	○	2				2
		28213	計測工学特論	○	2				2
		28234	電子回路特論	○		2			2
		28203	電気電子制御特論	○		2			2
		28204	電気磁気学特論	○	2				2
		28206	家電システム工学	○	2				2
		28221	半導体デバイス工学特論	○		2			2
		28215	C言語による数値計算	○		2			2
	専門応用 科目	28290- 28291	電気電子工学特別演習	◎	1	1			2
		28222	LSI設計とプロセス技術	○	2 (奇数年開講)				2
		28220	光物性工学特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28235	光通信デバイス特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28208	ロボット家電	○	2 (奇数年開講)				2
		28240	照明・音響工学	○		2 (奇数年開講)			2
		28207	ネットワークとHEMS	○	2 (偶数年開講)				2
		28242	移動通信システムとその応用	○		2 (偶数年開講)			2
		28224	データ解析特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28225	信号処理論	○	2 (偶数年開講)				2
	PBL系科目	28210	総合プロジェクト	◎	2				2
	共 通	28298	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28299	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28211	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								50	

(4)応用化学・バイオサイエンス専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合 計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28311	有機化学特論	○		2			2
		28312	高分子化学特論	○	2				2
		28332	環境化学特論	○	2				2
		28330	生物化学特論	○	2				2
		28323	細胞生物学特論	○	2				2
		28315	食品栄養学特論	○	2				2
		28396	理科特別実験	○	4				4
	専門応用 科目	28318	無機合成化学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28334	環境毒性学	○	2 (偶数年開講)				2
		28341	反応工学特論	○		2			2
		28351	生体応答学	○		2			2
		28319	微生物制御学	○	2				2
		28304	栄養科学特論	○		2			2
		28347	食行動科学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28308	植物細胞工学特論	○		2			2
	PBL系科目	28336	総合プロジェクト	◎	2				2
	共 通	28384	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28385	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28337	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								46	

(5)情報工学専攻

●教育課程表

(必選別:◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合 計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28501	コンピュータアーキテクチャ特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28506	インタラクティブシステム設計特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28507	数値計算処理特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28508	コンピュータ言語特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28516	メディアシステム特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28519	画像映像解析特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28521	エンタテインメント技術特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28523	画像認識工学特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28530	IoTシステムデザイン特論	○		2			2
		28531	応用音響工学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28541	インターネットセキュリティ特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28553	情報モデル論特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28556	知的生産システム工学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28560	情報ネットワーク設計特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28565	インタラクションデザイン特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28547	メディア設計特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28548	XR空間デザイン特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28602	知の情報システム	○	2				2
		28605	認知行動科学特論	○	2				2
		28570	応用情報技術 (認定科目)	○					2
	専門応用 科目	28503	ソフトウェア工学特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28504	人工生命創発システム特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28510	ネットワークアプリケーション特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28513	コンピュータグラフィックス特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28518	文字認識特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28520	統計的機械学習特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28524	流通情報システム特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28539	移動体通信特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28540	ワイヤレス通信特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28543	セキュリティ応用特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28545	パターン認識・理解特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28558	Web行動解析特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28564	ソフトコンピューティング特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28566	スポーツ情報科学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28567	コミュニケーションソフトウェア特論	○		2 (偶数年開講)			2
		28546	ホームネットワーク特論	○	2 (奇数年開講)				2
		28549	プロシージャルコンテンツ制作	○	2 (偶数年開講)				2
		28618	人間機械共生工学	○	2				2
		28571	高度情報技術 (認定科目)	○					2
		PBL系科目	28526	総合プロジェクト	◎	2			
	共 通	28598	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28599	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28561	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								92	

(6) ロボット・メカトロニクスシステム専攻

●教育課程表

(必選別: ◎必修、□選択必修、○選択)

分類		授業 コード	授業科目	必選 別	年次及び単位数				
					1 年次		2 年次		合計
					前	後	前	後	
専門 科目群	専門基礎 科目	28600	メカトロニクス特論	○	2				2
		28602	知的情報システム	○	2				2
		28603	制御工学特論	○	2				2
		28605	認知行動科学特論	○	2				2
		28607	健康科学特論	○		2			2
		28617	医療機器構成要素論	○		2			2
		28625	生体機能代行装置学特論	○		2			2
		28626	治療支援ロボットシステム論	○		2			2
		28627	生理学特論	○		2			2
		28506	インタラクティブシステム設計特論	○	2 (偶数年開講)				2
		28519	画像映像解析特論	○		2 (奇数年開講)			2
		28531	応用音響工学特論	○	2 (偶数年開講)				2
		専門応用 科目	28611	ヒューマン・マシンインタフェース	○	2			
	28612		インタラクティブコミュニケーション	○	2				2
	28606		生体計測工学	○		2			2
	28620		知能機械設計工学	○		2			2
	28621		インテリジェントセンシング	○		2			2
	28622		健康開発システム	○		2			2
	28623		臨床人間工学特論	○		2			2
	28618		人間機械共生工学	○	2				2
	28624		デジタルシステム	○		2			2
	28628		医療データサイエンス	○	2				2
	PBL系科目	28613	総合プロジェクト	◎	2				2
		28614- 28615	研究・技術開発リテラシー	◎	1	1			2
	共 通	28698	特別研究Ⅰ	□			4		4
		28699	特別研究Ⅱ	◎				4	4
		28616	長期インターンシップ	□			4		4
合 計								60	

16. 研究指導要目

(1) 機械工学専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・工学博士 川島 豪	・機械システムのアクティブ制御 ・心地よい揺れに関する研究
教授・博士（工学） 有川 敬輔	・ロボット機構の設計と制御
教授・博士（工学） 渡部 武夫	・構造デザインに関する研究 ・破壊学に関する学際的研究
教授・博士（人間科学） 佐藤 智明 ・博士（工学）	・新しい熱機関システムに関する検討 ・教育利用のための機械システム開発とその評価
教授・博士（工学） 今井健一郎	・難削材料の研削／切削加工の研究 ・バイオミメティクスに基づく技術の研究
教授・博士（工学） 山門 誠	・人間特性に基づく車両諸元最適化の研究 ・自動運転や運転支援の基礎研究
教授・博士（工学） 門田 和雄	・珈琲焙煎機の開発 ・工業高校機械科のカリキュラム開発と教材研究 ・中学校技術科のカリキュラム開発と教材研究 ・STEAM教育に関する実践研究 ・台湾の自造教育に関する調査研究
教授・博士（工学） 菊池 典恭	・コネクテッドカー技術の導入効果の検証 ・LiDAR、カメラ、レーダー等による物体検出技術の研究 ・協調型運転システムの研究 ・測位技術に関する研究 ・車内／機器内ハーネスの無線化に関する研究
教授・博士（工学） 林 直樹	・燃焼現象に関する研究
准教授・博士（工学） 岡崎 昭仁	・電動駆動システム・要素に関する研究 ・内燃機関の高効率化に関する研究

(2)電気電子工学専攻

担 当 教 員		研 究 指 導 内 容
教授・博士（工学）	板子 一隆	太陽光発電システム、燃料電池発電システム、パワーエレクトロニクス制御に関する研究
教授・博士（工学）	瑞慶覧 章朝	高性能電気集塵装置、電磁界を利用した殺菌、水質の浄化に関する研究
教授・博士（工学）	高橋 宏	視覚と照明に関する研究
教授・博士（工学）	檜原 浩一	進行波型デバイスに関する研究
教授・博士（情報工学）	工藤 嗣友	高温用パワーデバイス素子の低損失化、高速動作、SiC材料を用いた高温、低損失、高速動作のデバイスシミュレーターによる解析に関する研究
教授・博士（工学）	中津原 克己	光通信ネットワーク用光スイッチ、光波長多重通信用光フィルタに関する研究
准教授・博士（工学）	高取 祐介	高度交通システムのための情報通信システム技術に関する研究
准教授・博士（工学）	宮田 統馬	デジタル信号処理の基礎及び応用技術に関する研究
教授・博士（工学）	奥村 万規子	アナログ回路シミュレーション、信号処理アルゴリズム、ホームネットワークに関する研究
教授・博士（工学）	黄 啓新	センシング技術及び家電への応用やセンサネットワークに関する研究
教授・博士（工学）	金井 徳兼	ホームロボットシステムやスマート家電制御に関する研究
教授・博士（医学）	広井 賀子	自然電源を利用したセンサ情報の取得と応用、生活関連作業の自動化機器開発、電子デバイスを用いた知覚環境再構成の心理学的効用探究、生態情報のデータドリブンモデリング
教授・博士（情報学）	安部 恵一	コンシューマ・エレクトロニクス分野で組込み、計測・制御、ICT応用、環境発電技術に関する研究
教授・博士（工学）	三栖 貴行	照明技術、プラズマ工学に関する研究
教授・博士（工学）	杉村 博	情報家電と人工知能の融合技術に関する研究
准教授・博士（工学）	山崎 洋一	ロボット技術、ロボット家電に関する研究

(3)応用化学・バイオサイエンス専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・博士（工学） 清水 秀信 教授・博士（工学） 山口 淳一 教授・博士（薬学） 森川 浩 教授・博士（工学） 村山 美乃 准教授・博士（工学） 和田 理征	・高分子合成 ・高分子材料 ・機能性高分子 ・選択的新規合成法 ・高分子ゲル科学 ・ナノ構造化学 ・無機材料工学
教授・博士（工学） 飯田 泰広 教授・博士（理学） 小池 あゆみ 教授・博士（農学） 岩本 嗣 教授・理学博士 村田 隆 教授・博士（理学） 井上 英樹 准教授・博士（材料科学） 山村 晃 准教授・博士（農学） 小澤 秀夫 准教授・博士（医学） 山下 直也 准教授・博士（理学） 柴田 大輔	・酵素工学 ・天然物化学 ・遺伝子工学 ・機能生物科学 ・構造生物学 ・生体応答学 ・植物細胞工学 ・生物化学計測 ・バイオイメージング ・神経科学 ・繁殖生態学
教授・博士（工学） 市村 重俊 教授・工学博士 齋藤 貴 教授・博士（理学） 高村 岳樹 教授・Ph.D. 仲亀 誠司 准教授・博士（工学） 大庭 武泰	・環境化学 ・環境毒性学 ・環境保全学 ・膜分離工学 ・バイオプロセス ・環境汚染物質の毒性評価と環境動態 ・物質移動 ・異相系の流動 ・拡散分離装置 ・反応操作 ・化学システム構築
特任教授・医学博士 饗場 直美 教授・博士（学術） 清瀬 千佳子 教授・博士（工学） 澤井 淳 教授・博士（栄養学） 花井 美保 教授・博士（学術） 大澤 絢子 准教授・博士（医学） 澤井 明香 准教授・博士（医学） 宮本 理人	・食機能と健康影響評価 ・栄養生化学 ・微生物制御学 ・食品成分の生成と代謝消長、食品分析法と評価 ・給食経営管理 ・臨床栄養学、栄養評価 ・特殊環境栄養学、多量元素・微量元素栄養学

(4)情報工学専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・博士（理学） 松本 一教	認知、認識などの人間系も含めた情報モデリング研究
教授・博士（工学） 陳 幸生	クラウド／モバイル環境における情報処理に関する研究
教授・博士（理学） 佐藤 尚	コンピュータアニメーションおよびNPRに関する研究
教授・博士（工学） 田中 博	ユビキタスシステムデザインとその実証に関する研究
教授・博士（工学） 木村 誠聡	デジタル信号処理およびハードウェア化に関する研究
教授・博士（工学） 納富 一宏	インタラクティブシステム設計とその応用に関する研究
教授・博士（工学） 服部 元史	3DCGゲーム開発のための基盤理論とシステム設計
教授・博士（情報科学） 田中 哲雄	情報システムの連携技術に関する研究
教授・博士（工学） 辻 裕之	数値モデルに基づく画像処理アルゴリズムに関する研究
教授・博士（工学） 塩川 茂樹	無線マルチホップネットワークの設計と応用に関する研究
教授・博士（情報科学） 五百蔵重典	プログラミング言語の実装に関する研究
教授・博士（情報科学） 清原 良三	モバイルコンピューティングと高度交通システムに関する研究
教授・博士（政策・メディア） 稲葉 達也	情報技術を活用した業務プロセスの価値定量化に関する研究
教授・博士（工学） 鳥井 秀幸	移動体通信における多元接続方式に関する研究
教授・博士（工学） 白杵 潤	物と情報の流れ解析によるシステム把握とユーザ支援法の研究
教授・博士（工学） 宮崎 剛	画像の処理や認識とそれらの工学的応用に関する研究
教授・博士（工学） 西村 広光	画像認識とその応用に関する研究
教授・博士（体育科学） 谷代 一哉	情報技術を用いたスポーツの競技力向上に関する研究
教授・博士（政策・メディア） 鷹野 孝典	ユーザ指向の検索エンジンの設計と評価に関する研究
教授・博士（国際情報通信学） 岡本 学	情報セキュリティとその実証・応用に関する研究
教授・博士（工学） 岡本 剛	脆弱性攻撃の対策技術に関する研究
教授・博士（工学） 森 稔	画像・映像の認識・理解およびその応用に関する研究
教授・博士（工学） 春日 秀雄	画像・映像の認識と評価に関する研究
教授・博士（工学） 大塚 真吾	Web空間におけるユーザの行動解析に関する研究
教授・博士（情報科学） 酒井 雅裕	エンタテインメント技術と応用に関する研究
教授・博士（工学） 鈴木 浩	インタラクションデザインに関する研究
教授・博士（政策・メディア） 川喜田佑介	IoTシステム設計とその応用に関する研究
教授・博士（工学） 渡部 智樹	ホームネットワークを主とした情報機器とその応用に関する研究
准教授・博士（工学） 凌 暁萍	分散環境における情報処理と情報サービスに関する研究
准教授・博士（工学） 井家 敦	情報通信ネットワークにおける性能評価に関する研究
准教授・博士（工学） 須藤 康裕	数値モデル化と最適化に関する研究
准教授・博士（工学） 岩田 一	情報サービスのユーザビリティと情報教育に関する研究
准教授・博士（工学） 上田 麻理	音声・聴覚情報を含む音響工学とその応用に関する研究
准教授・博士（工学） 北本英里子	XR技術を活用した建築・都市・空間デザインに関する研究
准教授・博士（芸術工学） プランセ マイケル	ゲームデザインユーザビリティとUXに関する研究

(5)ロボット・メカトロニクスシステム専攻

担 当 教 員	研 究 指 導 内 容
教授・博士（工学） 兵頭 和人	マルチエージェント・ロボット・システムの開発
教授・博士（工学） 河原崎徳之	ヒューマン・ロボット・インタラクションに関する研究
教授・博士（学術） 高橋 勝美	高齢者の日常生活動作・自立体力の評価システムに関する研究
教授・博士（工学） 高橋 良彦	人間支援ロボットシステムの開発研究
教授・博士（環境学） 松田 康広	コミュニケーション支援システムの開発
教授・博士（医学） 鈴木 聡	医療における人間工学と人工臓器システムに関する研究
教授・博士（工学） 吉野 和芳	視覚障がい者のための情報機器操作支援の研究
教授・博士（学術） 渡邊 紳一	人の健康維持・増進に関する科学研究
教授・博士（人間科学） 高尾 秀伸	視覚障がい者用聴覚ナビゲーションシステムの開発
教授・博士（工学） 河口 進一	計算機システムにおける電源制御に関する研究
教授・博士（工学） 吉満 俊拓	防災・災害救助システムの開発
特任教授・医学博士 馬嶋 正隆	病態解析と新規治療法開発に関する研究
教授・博士（情報理工学） 金 大永	医療支援ロボットシステムに関する研究
准教授・博士（工学） 吉留 忠史	インタラクティブロボットの開発
准教授・博士（情報科学） 大瀧 保明	身体動作における計測・制御・力学に関する研究
准教授・博士（工学） 三枝 亮	医療介護を支援するロボット・インターフェースの研究
准教授・博士（工学） 川崎 路浩	医療（臨床）情報と機械学習を使った研究と開発
准教授・博士（医療科学） 西村 宗修	体位変換時の循環動態と血圧調節に関する研究